

## 質 問 書

2017年6月5日

(案件名)南アフリカ共和国 IBTC 無収水研修能力強化プロジェクト

(公示日:2017年5月17日/公示番号:170270)について、質問の回答は以下のとおりです。

通番号	当該頁項目	質問	回答(案)
1	業務指示書 P.7 第9 1 2)評価対象者とする業務従事者の予定人月	評価対象の2ポジションで38.00MMとのことですが、全体6ポジションでの64.00MMに対し、現地従事期間の負担比率(約60%)は大きく感じます。 このMM設定の比率の考え方を教えてください。	本案件は、研修の実施体制構築及び組織運営の能力向上を主たる目的としているため、研修の計画運営や監理を行う評価対象者のMMの比重が大きくなっております。 なお、より効率的かつ効果的な配置が想定される場合には、プロポーザルの中で提案することも可能とします。
2	P.6 第7(5) その他(以下に記載の経費)「資機材に係る経費」 P.38 6. 機材調達 「業務を実施する上で必要となる資機材があれば、プロポーザル中で提案すること。なお、これらの機材に係る経費は別見積もりとすること。」	詳細計画策定調査報告書の P.8 2-2-6 投入 (2) 南アフリカ側【土地・建物・施設】において、「JICA 専門家の執務スペース(水道光熱費、インターネット環境、エアコン等)」となっています。また、RD の II. OUTLINE OF THE PROJECT の (2) Input by DWS and IBTC の(a)では、先方からは必要な機材と事務所スペースが提供されると読み取れます。 家具(執務机、椅子等)や電気機器(コピー機、プリンター等)といった物品を含めて、事務所設備は全て先方に整備いただけるという理解でよろしいでしょうか。あるいは一部コンサルタント側で準備するものはございますでしょうか。その場合、外見積りで見積もりをしてもよろしいでしょうか。	執務スペース(水光熱費、家具等含む)は基本的に先方負担事項となりますが、電気機器(プリンター、コピー機等)については、必要に応じて、別見積りにてプロポーザルでの提案を可能とします。

以 上